



発行・問合わせ 伏見区ボランティアセンター

(運営：社会福祉法人京都市伏見区社会福祉協議会)

電話 075-603-1287

FAX 075-603-4532

〒612-8318

伏見区紙子屋町 544



←伏見区社協 HP

京都市伏見社会福祉総合センター2F

協力 伏見区ボランティアグループ連絡会

Vol.43

伏見区ボランティアグループ連絡会

本会は伏見区内で、身体や精神に障害をお持ちの方や高齢者の方などを対象にボランティアを行っているグループで構成している団体で、現在 8 つのグループが加入しています。新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが見えない状況ですが、感染予防対策に努め、工夫しながら研修会や交流会を実施しています。令和4年2月には、各グループの活動内容を紹介したパンフレットをリニューアルして発行しました。上記 QR コードからは是非ご覧いただき、一緒に活動して下さる方が増えることを願っています。伏見区内でボランティアをされているグループの皆さま、本会へ加入して私たちとともに活動しませんか！お待ちしております。

令和4年度：大西 久仁子（かたつむり）・中西 雅子（ねこの手）・岡本 都（こおろぎ）

ボランティア活動訪問記

取材ファイル No.3 京都 YMCA こおろぎ

伏見区ボランティアグループ連絡会に所属している各ボランティアグループの魅力を紹介！（取材：宇野）

●団体基本データ●

- ・代表者：丹後 美紀子 ・発足：1983年
- ・活動目的：視覚障がい者を対象に、様々な情報を伝えるために朗読をしています。
- ・活動内容：声の雑誌「こおろぎ」年4回発行/市民しんぶん伏見区版「きりり伏見」の音訳/「ふれあい広場」の開催/絵本の読み聞かせ/他団体との交流や協力



音訳ボランティア養成講座（参加メンバーより寄稿）

3月9日より毎週水曜日4回に渡り「音訳ボランティア養成講座」が講師・安田知博先生をお迎えして行われました。アクセントや鼻濁音、無声化等、基本的な事を楽しく学びました。時にユーモアを交え分かりやすく説明して下さいととても楽しい授業でした。最後の回は「こおろぎ」のライフワークでもある「きりり伏見」の読み方を先生に聞いていただきアドバイスを受けました。貴重な体験となりました。



リスナーさんのために、時間をかけて心を込めて

取材日は、視覚障がい者のリスナーさんに向けて作成している声の雑誌「こおろぎ」を届けるべく録音したテープの聞き直し・発送作業に取り掛かっていらっしやいました。現在リスナーさんは約70名で、1号分を発行するのに3か月はかかるとのことで大変驚きました。現在はデージーのダビング機を購入し1回で最大5枚のCDに同時に焼くことができますが、昔は約100人へテープを1枚ずつ焼いて作成していたとのことです。他にも、「記事の話題と読み手側の適正も考えて朗読の担当を決める」といった工夫や「スポーツは最新の情報が求められるので掲載は難しい」など、構成についても細かに考えながら音訳作業に進んでいくことをお伺いしました。メンバーの皆さんは本当に生きいきとされていて、「こんなに熱意のある皆さんの声で作成された雑誌、リスナーさん達も毎回待ち遠しいのだろうな」と取材者も元気をもらえる時間でした。